



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

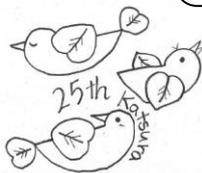
3月号

令和4年2月28日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



レディネスと意欲

校長 寺澤 みゆき

一月往ぬる、二月逃げる（いちげついぬる にげつにげる）とはよく言ったもので、光陰矢の如し。あっという間にこの2ヶ月が終わり、明日からいよいよ三月です。三月去る（さんげつさる）。残り1ヶ月も気を抜くとすぐに終わってしまいます。このような時だからこそ、一つひとつの事柄を大切にしていきたいものです。

2月16日（水）と21日（月）、2日に分けて、6年生と日帰り修学旅行に行ってきました。

年度当初は、7月に1泊2日の日光市を目的地とした修学旅行を設定していました。しかし、緊急事態宣言の発令で2月に延期、さらに年明け、まん延防止等重点措置の発令に伴い、県内での日帰りプランへ変更せざるをえなくなりました。致し方ないこととはいえ、楽しみにしていた行事の直前変更を2度も子どもたちに経験させてしまったことは、私たち職員にとっても大変つらいことでした。しかし、それに関して不平や不満を言うこともなく、前向きに考える子どもたちの姿に、かえって私たち職員が励まされていた日々でした。

さて、本校の修学旅行における学習としては、社会科の歴史分野、理科の自然環境、特別活動の集団行動や公共心、マナーを目標として定めています。それを今回の日帰りの修学旅行でもきちんと学べるよう、行先と内容を吟味しました。1日目は、歴史、自然、伝統工芸を知る目的で、小田原城、大涌谷、寄木細工の体験。2日目は主に集団行動や公共心、マナーを学ぶ目的で八景島シーパラダイスでのグループ行動。

「いけないかもしれない」という不安の中でも子どもたちは、楽しみながらも目標を意識し、学習している様子が見られました。その姿と、当時4年生だった子どもたちと神奈川県警本部や高尾体験学習に行った時の姿を比べ、感慨深くなりました。事前学習はしたものの、楽しさや疲れに負け、歩道の歩き方や電車内の過ごし方に課題が残ったあの頃。それに比して今回、驚くほどの成長を遂げた6年生の姿は、最上級生という名前にふさわしい姿でした。

教育界では、「学習の前提となる知識や経験、環境が整っている学習のために必要な準備状態」を示す、「レディネス」という言葉をよく使います。今思い起こすと4年生の頃は、公共心やマナーを学びとるレディネスがまだまだ十分ではなかったのではないかと思います。その後、日々の学習や人とかかわる経験を積み重ねたことで、公共心やマナーを学びとるに必要な準備状態ができたのでしょうか。また、今回の教師すら見通しが立たない状況が、子どもたちに修学旅行を自分たちの力で「成功させたい」という意欲の高まりをもたらせたのでしょうか。

イギリスに「馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。(You can take a horse to the water, but you can't make him drink.)」という言葉があります。馬が水を飲むかどうかは馬次第なので、人は他人に対して機会を与えることはできるが、それを実行するかどうかは本人のやる気(意欲)次第であるという意味のことわざです。

レディネスが整った状態において意欲がある時ほど、学習効果が高まり大きく成長することができます。今回の修学旅行で、私たち職員はそれを実感することができ、大変うれしく感じました。

3月にも校外学習や遠足が予定されています。一つ一つの行事を通して、その学年の子どもの発達段階に応じた成長が図られるよう指導し、見とり、ともに喜びたいと職員一同、願っております。

今年度も残り少なくなりました。今、この時を生きる子どもたちに必要な資質や能力は何か、手探りで考えながら教育活動を行った1年でした。今年度もご来校いただき本校の教育活動をご覧いただく機会が大変少なく、残念に思っておりました。しかしながら、折に触れ、温かい言葉をいただくことも多く、地域、保護者の皆様には感謝しかありません。どうもありがとうございました。